

平成25年4月22日(月)

独立行政法人 労働政策研究・研修機構 (理事長 菅野和夫)
キャリア支援部門 主任研究員 下村 英雄
(電話) 03 - 5903 - 6334
(URL) <http://www.jil.go.jp/>

自信のない生活スキルは「将来の職業生活に備える」こと

「20～50代 1,600名の職業スキル・生活スキル・職業意識」調査結果

労働政策研究・研修機構では、20～50代の一般成人の職業スキル・生活スキル・職業意識(自尊感情・抑うつ傾向)について調査しました。このほど、調査結果がまとまりましたので公表いたします。

調査結果のポイント

一般成人が自信のある職業スキルは「人の話を聞くこと」「書類を読むこと」「人と協同で作業すること」。ただし、性別、年齢、収入等で大きな差がある。

- ・20～50代の一般成人が自信がある職業スキルは「人の話を聞くこと(47.6%)」「書類を読むこと(42.7%)」「人と協同で作業すること(40.6%)」であった(図表1)。
- ・男性が自信があるのは「機械の操作やコントロールを行うこと」「機械や部品のメンテナンスを行うこと」、女性が自信があるのは「接客すること」「人の話を聞くこと」(図表2)
- ・20代が50代に比べて自信がないのは「書類を書くこと」「人と段取りの調整を行うこと」「人前で話すこと」(図表3)
- ・「収入なし」の回答者が「収入600万以上」に比べて自信がないのは「人に指示すること」「人前で話すこと」「人を説得したり、交渉したりすること」(図表4)

一般成人が自信のない生活スキルは「将来の職業生活に備える」「人生設計を立てる」「悪いところを直す」こと。

- ・一般成人が自信のある生活スキルは「人との約束を守る(76.3%)」「社会人としてのマナーを守る(74.5%)」「あいさつをする(72.6%)」。一方、一般成人が自信がない生活スキルは「将来の職業生活に備える(22.3%)」「自分の人生設計を立てる(25.8%)」「自分の悪いところを直す(26.4%)」(図表9)。
- ・「女性」「50代」「高収入」の回答者は、概して生活スキルに自信をもっていた(図表10～12)。
- ・「管理的な職業」に就いている回答者は、「定期的に適度な運動をする」「人と交渉する」「ビジネスマナーを理解している」などの生活スキルに自信をもっていた(図表13)。

一般成人が後悔するのは「英語の勉強をしなかったこと」「資格をとらなかったこと」。

- ・一般成人が最も後悔していたのは「学生時代に英語の勉強を十分にできなかったこと」「資格をとらなかったこと」。ただし「後悔していることはない」も多い(図表15)。
- ・20代の成人は「学生時代に友達を多くつくらなかったこと」「就職活動がうまくいかなかったこと」を後悔していた(図表16)。
- ・収入が少ない回答者、家計負担者が「親」の回答者、現在、失業中・休業中の回答者、真剣に次の仕事を探している回答者は、総じて後悔する割合が高かった(図表17～20)。

抑うつ傾向が高いのは、女性、若者、失業者の他、他社では自分の職業能力は通用しないと考えている者。

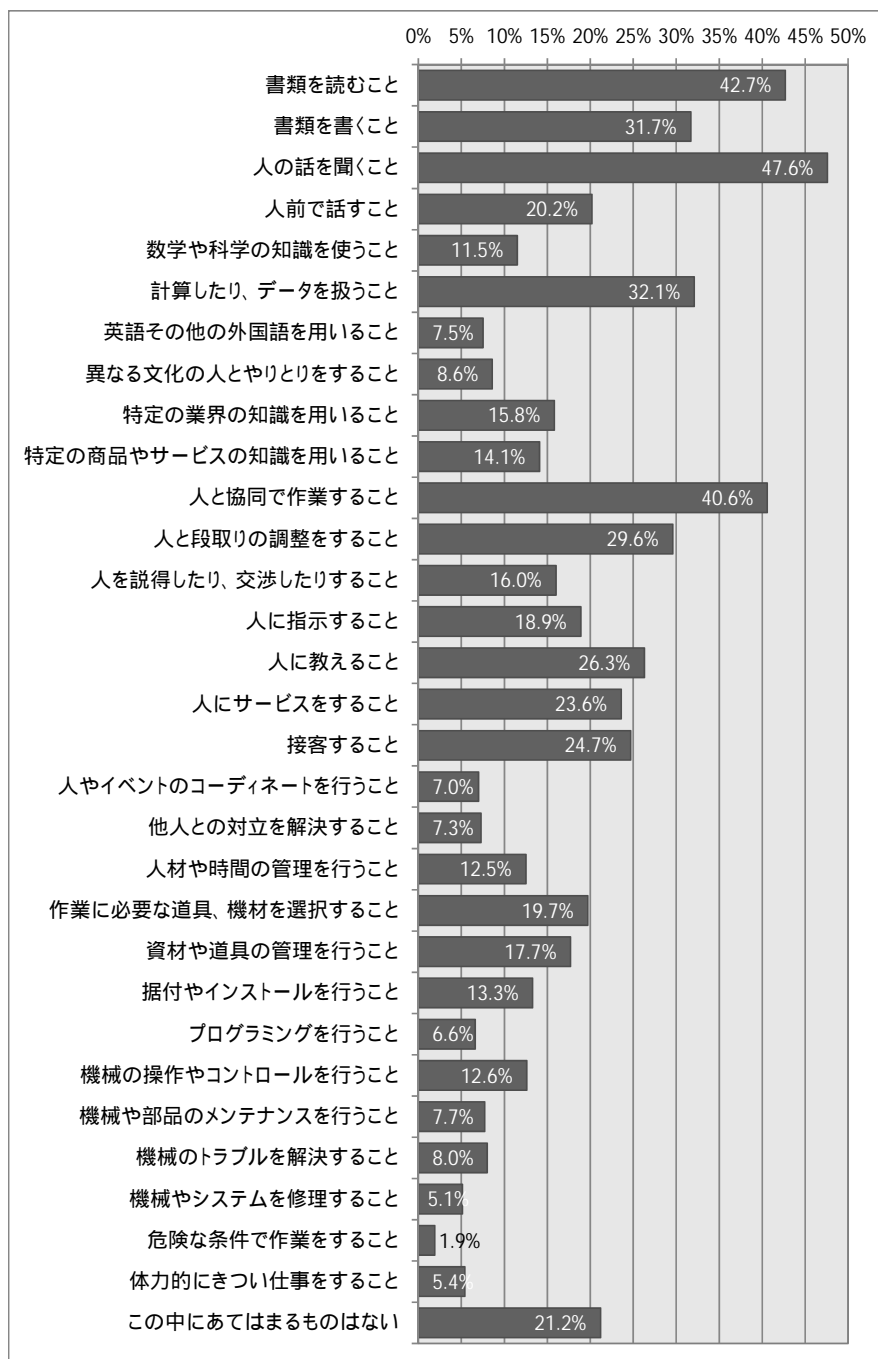
- ・自尊感情が高く抑うつ傾向が低いのは、「男性」「50代」「正社員」「高収入」「専門的・技術的・管理的職業」「役員・部長」「1つの分野でいろいろな仕事を経験している」「職業能力は他社でも通用すると考えている」回答者。
- ・自尊感情が低く抑うつ傾向が高いのは、「女性」「20～30代」「家計負担者が親」「販売の職業」「現在、失業中・求職中」「いろいろな分野で1つの仕事を経験している」「職業能力は他社でも通用しないと考えている」回答者(図表21～26)。

調査結果の概要

(1) 成人の職業スキル

・一般成人が自信がある職業スキルは「人の話を聞くこと」「書類を読むこと」「人と協同で作業すること」

図表1 自信がある職業スキル



「仕事上で、うまくできる自信がある」と回答した割合が最も高かったのは、「人の話を聞くこと」(47.6%)だった。以下、「書類を読むこと」(42.7%)、「人と協同で作業すること」(40.6%)、「計算したり、データを扱うこと」(32.1%)、「書類を書くこと」(31.7%)と続いていた(図表1)。

- ・男性が自信があるのは「機械の操作やコントロールを行うこと」「機械や部品のメンテナンスを行うこと」「機械のトラブルを解決すること」
- ・女性が自信があるのは「接客すること」「人の話を聞くこと」「書類を書くこと」

図表2 自信がある職業スキル×性別

	男性 N=881	女性 N=883	差	sig.
書類を読むこと	38.5%	46.9%	-8.4%	**
書類を書くこと	26.4%	36.9%	-10.5%	**
人の話を聞くこと	40.9%	54.2%	-13.4%	**
人前で話すこと	20.1%	20.4%	-0.3%	
数学や科学の知識を使うこと	15.2%	7.7%	7.5%	**
計算したり、データを扱うこと	32.5%	31.7%	0.8%	
英語その他の外国語を用いること	6.1%	8.8%	-2.7%	
異なる文化の人とやりとりをすること	8.6%	8.5%	0.1%	
特定の業界の知識を用いること	18.3%	13.4%	4.9%	**
特定の商品やサービスの知識を用いること	16.6%	11.7%	4.9%	**
人と協同で作業すること	36.0%	45.2%	-9.2%	**
人と段取りの調整をすること	27.6%	31.7%	-4.1%	
人を説得したり、交渉したりすること	18.0%	13.9%	4.1%	
人に指示すること	20.5%	17.2%	3.3%	
人に教えること	27.2%	25.4%	1.9%	
人にサービスをすること	19.8%	27.5%	-7.8%	**
接客すること	16.0%	33.3%	-17.3%	**
人やイベントのコーディネートを行うこと	5.9%	8.0%	-2.1%	
他人との対立を解決すること	7.8%	6.7%	1.2%	
人材や時間の管理を行うこと	12.7%	12.3%	0.4%	
作業に必要な道具、機材を選択すること	24.5%	14.8%	9.7%	**
資材や道具の管理を行うこと	19.5%	16.0%	3.6%	
据付やインストールを行うこと	18.2%	8.5%	9.7%	**
プログラミングを行うこと	9.9%	3.3%	6.6%	**
機械の操作やコントロールを行うこと	19.3%	6.0%	13.3%	**
機械や部品のメンテナンスを行うこと	13.8%	1.5%	12.4%	**
機械のトラブルを解決すること	13.2%	2.9%	10.2%	**
機械やシステムを修理すること	9.1%	1.1%	7.9%	**
危険な条件で作業をすること	3.5%	0.3%	3.2%	**
体力的にきつい仕事をすること	7.6%	3.3%	4.3%	**
この中にあてはまるものはない	27.0%	15.4%	11.6%	**

** p<.01 残差分析の結果、1%水準で有意に値が大きい箇所に網掛けを付した。「差」は男性 - 女性の値。

男性が女性と比べて「仕事上で、うまくできる自信がある」と回答した割合が最も高かったのは、「機械の操作やコントロールを行うこと」であった。以下、「機械や部品のメンテナンスを行うこと」「機械のトラブルを解決すること」「作業に必要な道具、機材を選択すること」「据付やインストールを行うこと」と続いていた。また、「この中にあてはまるものはない」と回答した割合も高かった。

一方、女性の方が男性とくらべて「仕事上で、うまくできる自信がある」と回答した割合が最も高かったのは、「接客すること」であった。以下、「人の話を聞くこと」「書類を書くこと」「人と協同で作業すること」「書類を読むこと」と続いていた(図表2)。

・年齢が高い方が職業スキルに自信がある。特に、50代と20代で差が大きいのは「書類を書くこと」「人と段取りの調整をすること」「人前で話すこと」

図表3 自信がある職業スキル×年齢

	20代 N=440	30代 N=441	40代 N=441	50代 N=442	50代- 20代 (差)	sig.
書類を読むこと	36.6%	39.7%	43.3%	51.1%	14.5%	**
書類を書くこと	24.1%	27.7%	30.6%	44.3%	20.3%	**
人の話を聞くこと	43.0%	41.7%	51.2%	54.3%	11.3%	**
人前で話すこと	13.9%	17.2%	20.4%	29.4%	15.5%	**
数学や科学の知識を使うこと	11.1%	8.2%	8.6%	17.9%	6.7%	**
計算したり、データを扱うこと	27.0%	30.2%	32.2%	38.9%	11.9%	**
英語その他の外国語を用いること	7.3%	7.0%	7.0%	8.6%	1.3%	
異なる文化の人とやりとりをすること	6.6%	9.3%	7.7%	10.6%	4.0%	
特定の業界の知識を用いること	12.7%	12.5%	17.5%	20.6%	7.9%	**
特定の商品やサービスの知識を用いること	11.6%	14.1%	14.7%	16.1%	4.5%	
人と協同で作業すること	35.9%	37.4%	38.8%	50.2%	14.3%	**
人と段取りの調整をすること	21.8%	27.4%	30.6%	38.7%	16.9%	**
人を説得したり、交渉したりすること	11.8%	13.6%	15.4%	23.1%	11.3%	**
人に指示すること	13.4%	15.0%	18.8%	28.3%	14.9%	**
人に教えること	20.7%	22.4%	27.0%	35.1%	14.4%	**
人にサービスをすること	22.5%	21.8%	22.9%	27.4%	4.9%	
接客すること	24.8%	22.4%	21.5%	29.9%	5.1%	
人やイベントのコーディネートを行うこと	6.6%	6.1%	5.7%	9.5%	2.9%	
他人との対立を解決すること	6.1%	7.0%	6.6%	9.3%	3.1%	
人材や時間の管理を行うこと	8.9%	12.0%	10.9%	18.3%	9.5%	**
作業に必要な道具、機材を選択すること	17.3%	18.8%	18.1%	24.4%	7.2%	
資材や道具の管理を行うこと	13.6%	17.7%	16.8%	22.9%	9.2%	**
据付やインストールを行うこと	10.0%	14.1%	12.9%	16.3%	6.3%	
プログラミングを行うこと	5.0%	5.7%	8.6%	7.0%	2.0%	
機械の操作やコントロールを行うこと	9.3%	10.9%	15.9%	14.5%	5.2%	
機械や部品のメンテナンスを行うこと	6.6%	6.1%	9.3%	8.6%	2.0%	
機械のトラブルを解決すること	5.0%	7.5%	10.0%	9.7%	4.7%	
機械やシステムを修理すること	3.9%	4.8%	5.7%	6.1%	2.2%	
危険な条件で作業をすること	1.1%	2.3%	2.0%	2.3%	1.1%	
体力的にきつい仕事をすること	5.5%	6.6%	5.2%	4.5%	-0.9%	
この中であてはまるものはない	25.0%	24.3%	20.6%	14.9%	-10.1%	**

** p<.01 残差分析の結果、1%水準で統計的に有意に値が高い箇所と低い箇所を網かけ、有意に値が低い箇所を下線を付した。

年齢が高い方が、概して「仕事上で、うまくできる自信がある」と回答した割合が高かった。50代と20代で最も差が大きかったのは「書類を書くこと」であった。以下、「人と段取りの調整をすること」「人前で話すこと」「人に指示すること」「書類を読むこと」と続いていた。逆に、「この中であてはまるものはない」と回答した割合は、年齢が低い方が高かった(図表3)。

・年収が高い方が職業スキルに自信がある。特に、年収「600万以上」と「収入なし」で差が大きいのは「人に指示すること」「人前で話すこと」「人を説得したり、交渉したりすること」

図表4 自信がある職業スキル×最近1年間の税込み個人年収

	収入なし N=523	～100万 N=408	～200万 N=253	～300万 N=196	～400万 N=143	～600万 N=126	600万～ N=115	差	sig.
書類を読むこと	39.4%	42.6%	41.1%	38.3%	45.5%	48.4%	59.1%	19.7%	**
書類を書くこと	27.0%	27.9%	32.0%	32.1%	34.3%	41.3%	51.3%	24.3%	**
人の話を聞くこと	44.2%	46.1%	52.6%	46.4%	49.7%	52.4%	51.3%	7.1%	
人前で話すこと	12.8%	16.2%	25.3%	21.9%	28.7%	24.6%	39.1%	26.3%	**
数学や科学の知識を使うこと	7.8%	9.8%	9.9%	10.7%	9.8%	24.6%	26.1%	18.3%	**
計算したり、データを扱うこと	27.5%	29.9%	31.2%	29.1%	32.2%	50.0%	47.8%	20.3%	**
英語その他の外国語を用いること	5.0%	6.6%	6.3%	11.2%	7.0%	8.7%	17.4%	12.4%	**
異なる文化の人とやりとりをすること	6.9%	4.7%	9.5%	11.7%	9.8%	7.9%	21.7%	14.8%	**
特定の業界の知識を用いること	11.9%	14.0%	17.4%	13.3%	17.5%	19.0%	35.7%	23.8%	**
特定の商品やサービスの知識を用いること	9.9%	14.0%	17.0%	18.4%	15.4%	14.3%	18.3%	8.4%	
人と協同で作業すること	38.0%	38.2%	45.8%	42.9%	39.9%	39.7%	47.0%	9.0%	
人と段取りの調整をすること	25.0%	25.0%	32.8%	33.7%	33.6%	32.5%	45.2%	20.2%	**
人を説得したり、交渉したりすること	10.3%	13.5%	15.4%	16.8%	23.8%	21.4%	34.8%	24.5%	**
人に指示すること	13.2%	15.4%	23.3%	17.9%	18.9%	25.4%	41.7%	28.5%	**
人に教えること	20.1%	22.5%	31.6%	28.6%	28.7%	31.7%	43.5%	23.4%	**
人にサービスをすること	19.7%	26.0%	25.7%	24.5%	25.9%	17.5%	31.3%	11.6%	
接客すること	24.3%	26.7%	28.5%	25.5%	24.5%	15.1%	20.0%	-4.3%	
人やイベントのコーディネートを行うこと	5.5%	6.1%	7.1%	8.7%	6.3%	6.3%	14.8%	9.3%	
他人との対立を解決すること	4.4%	6.1%	9.1%	9.2%	11.2%	7.1%	12.2%	7.8%	
人材や時間の管理を行うこと	9.6%	10.8%	13.4%	10.2%	16.1%	17.5%	24.3%	14.7%	**
作業に必要な道具、機材を選択すること	14.0%	19.1%	19.0%	29.1%	23.8%	25.4%	21.7%	7.7%	**
資材や道具の管理を行うこと	14.5%	16.9%	19.4%	23.0%	21.0%	17.5%	19.1%	4.6%	
据付けやインストールを行うこと	8.8%	13.7%	13.8%	13.3%	15.4%	21.4%	20.0%	11.2%	**
プログラミングを行うこと	5.9%	4.7%	5.9%	3.1%	8.4%	13.5%	13.9%	8.0%	**
機械の操作やコントロールを行うこと	9.9%	10.3%	17.4%	9.7%	15.4%	17.5%	19.1%	9.2%	
機械や部品のメンテナンスを行うこと	6.9%	5.9%	7.5%	7.1%	9.8%	8.7%	14.8%	7.9%	
機械のトラブルを解決すること	5.9%	5.6%	8.7%	7.1%	11.2%	11.1%	19.1%	13.2%	**
機械やシステムを修理すること	4.0%	3.2%	4.3%	6.6%	7.0%	7.1%	11.3%	7.3%	**
危険な条件で作業をすること	1.7%	1.7%	1.2%	3.1%	2.8%	0.8%	3.5%	1.8%	
体力的にきつい仕事をすること	3.8%	3.9%	7.5%	7.7%	7.0%	4.0%	9.6%	5.8%	
この中であてはまるものはない	25.4%	23.8%	16.6%	18.9%	17.5%	16.7%	16.5%	-8.9%	

** p<.01. 残差分析を行った結果、1%水準で統計的に有意に値が高い箇所に網かけ、有意に値が低い箇所に下線を付した。「差」は「600万～」-「収入なし」。

最近1年間の税込み個人年収別に検討した結果、年収が高い者の方が、概して「仕事上で、うまくできる自信がある」と回答した割合は高かった。年収「600万以上」と「収入なし」で最も差が大きかったのは「人に指示すること」であり、以下、「人前で話すこと」「人を説得したり、交渉したりすること」「書類を書くこと」「特定の業界の知識を用いること」と続いていた(図表4)。

・「正社員」は「無業者」に比べて職業スキルに自信がある。特に差が大きいのは「人前で話すこと」「書類を書くこと」「人と段取りの調整をすること」「人の話を聞くこと」

図表5 自信がある職業スキル×現在の立場

	正社員 N=439	非正社員 N=442	求職者 N=413	無業者 N=455	差	sig.
書類を読むこと	47.2%	38.9%	47.0%	38.2%	-9.0%	
書類を書くこと	41.0%	26.9%	33.2%	25.3%	-15.7%	**
人の話を聞くこと	51.5%	45.9%	54.5%	39.3%	-12.2%	**
人前で話すこと	28.9%	20.1%	19.6%	12.5%	-16.4%	**
数学や科学の知識を使うこと	15.3%	10.4%	12.3%	8.1%	-7.2%	**
計算したり、データを扱うこと	36.4%	28.3%	35.8%	27.7%	-8.7%	
英語その他の外国語を用いること	10.9%	6.3%	7.0%	5.9%	-5.0%	
異なる文化の人とやりとりをすること	12.3%	7.2%	8.7%	6.2%	-6.1%	**
特定の業界の知識を用いること	21.0%	13.1%	18.4%	11.4%	-9.6%	**
特定の商品やサービスの知識を用いること	14.8%	16.1%	17.2%	9.0%	-5.8%	**
人と協同で作業すること	39.9%	42.3%	48.9%	31.6%	-8.3%	**
人と段取りの調整をすること	34.6%	28.1%	36.1%	20.4%	-14.2%	**
人を説得したり、交渉したりすること	21.6%	13.8%	19.4%	9.9%	-11.7%	**
人に指示すること	25.1%	15.6%	22.5%	12.5%	-12.6%	**
人に教えること	30.8%	24.2%	31.0%	20.0%	-10.8%	**
人にサービスをすること	24.6%	24.7%	29.8%	16.0%	-8.6%	**
接客すること	22.1%	27.6%	28.1%	20.9%	-1.2%	
人やイベントのコーディネートを行うこと	10.0%	4.8%	7.7%	5.5%	-4.5%	**
他人との対立を解決すること	8.0%	8.4%	9.0%	4.0%	-4.0%	
人材や時間の管理を行うこと	16.4%	9.3%	15.0%	9.9%	-6.5%	**
作業に必要な道具、機材を選択すること	23.9%	21.0%	20.1%	13.8%	-10.1%	**
資材や道具の管理を行うこと	21.6%	17.9%	18.2%	13.4%	-8.2%	
据付やインストールを行うこと	16.6%	10.0%	16.0%	11.0%	-5.6%	
プログラミングを行うこと	8.9%	2.5%	9.2%	6.2%	-2.7%	**
機械の操作やコントロールを行うこと	15.3%	11.5%	11.6%	11.9%	-3.4%	
機械や部品のメンテナンスを行うこと	8.7%	6.1%	8.0%	7.7%	-1.0%	
機械のトラブルを解決すること	11.4%	5.7%	9.0%	6.4%	-5.0%	**
機械やシステムを修理すること	7.1%	2.7%	6.8%	4.0%	-3.1%	**
危険な条件で作業をすること	2.1%	1.4%	2.9%	1.5%	-0.6%	
体力的にきつい仕事をする	5.5%	8.1%	5.3%	2.6%	-2.9%	**
この中にあてはまるものはない	16.4%	21.9%	14.3%	31.4%	15.0%	**

** p<.01。残差分析を行った結果、1%水準で統計的に有意に値が高い箇所に網かけ、有意に値が低い箇所に下線を付した。「差」は「無業者」-「正社員」。

現在の立場別に検討した結果、「仕事上で、うまくできる自信がある」と回答した割合は、概して「正社員」が高く、「無業者」で低かった。「正社員」と「無業者」で最も差が大きかったのは「人前で話すこと」であり、以下、「書類を書くこと」「人と段取りの調整をすること」「人に指示すること」「人の話を聞くこと」と続いていた。また、「求職者」は「人の話を聞くこと」「人と協同で作業すること」「人と段取りの調整をすること」「人にサービスをすること」の割合が高かった(図表5)。

・「役員、部長」は、概して職業スキルに自信がある。「役員、部長」と「一般社員・職員」で差が大きいのは「人に指示すること」「人を説得したり、交渉したりすること」「人に教えること」

図表6 自信がある職業スキル×勤務先の職位

	一般 社員・ 職員 N=471	係長・ 主任 N=51	課長、 課長 補佐 N=38	役員、 部長 N=30	差	sig.
書類を読むこと	43.9%	54.9%	60.5%	66.7%	22.8%	
書類を書くこと	34.8%	51.0%	55.3%	56.7%	21.9%	**
人の話を聞くこと	48.4%	49.0%	57.9%	70.0%	21.6%	
人前で話すこと	25.3%	25.5%	18.4%	56.7%	31.4%	**
数学や科学の知識を使うこと	13.2%	13.7%	10.5%	36.7%	23.5%	**
計算したり、データを扱うこと	32.9%	37.3%	47.4%	63.3%	30.4%	**
英語その他の外国語を用いること	7.9%	13.7%	15.8%	16.7%	8.8%	
異なる文化の人とやりとりをすること	8.3%	21.6%	15.8%	20.0%	11.7%	
特定の業界の知識を用いること	14.9%	29.4%	23.7%	40.0%	25.1%	**
特定の商品やサービスの知識を用いること	14.4%	25.5%	7.9%	30.0%	15.6%	
人と協同で作業すること	43.9%	45.1%	36.8%	60.0%	16.1%	
人と段取りの調整をすること	30.8%	47.1%	36.8%	63.3%	32.5%	**
人を説得したり、交渉したりすること	16.3%	23.5%	26.3%	50.0%	33.7%	**
人に指示すること	17.6%	29.4%	31.6%	70.0%	52.4%	**
人に教えること	26.5%	33.3%	23.7%	60.0%	33.5%	**
人にサービスをすること	24.4%	27.5%	15.8%	43.3%	18.9%	
接客すること	24.4%	25.5%	10.5%	36.7%	12.3%	
人やイベントのコーディネートを行うこと	6.4%	9.8%	5.3%	26.7%	20.3%	**
他人との対立を解決すること	8.1%	11.8%	2.6%	23.3%	15.2%	
人材や時間の管理を行うこと	12.3%	19.6%	18.4%	43.3%	31.0%	**
作業に必要な道具、機材を選択すること	23.8%	25.5%	15.8%	33.3%	9.5%	
資材や道具の管理を行うこと	20.8%	25.5%	5.3%	30.0%	9.2%	
据付やインストールを行うこと	13.2%	23.5%	7.9%	30.0%	16.8%	
プログラミングを行うこと	6.2%	11.8%	7.9%	16.7%	10.5%	
機械の操作やコントロールを行うこと	13.2%	21.6%	13.2%	20.0%	6.8%	
機械や部品のメンテナンスを行うこと	7.2%	13.7%	7.9%	10.0%	2.8%	
機械のトラブルを解決すること	8.3%	17.6%	13.2%	16.7%	8.4%	
機械やシステムを修理すること	5.1%	7.8%	10.5%	10.0%	4.9%	
危険な条件で作業をすること	1.7%	2.0%	2.6%	3.3%	1.6%	
体力的にきつい仕事をすること	6.6%	11.8%	7.9%	10.0%	3.4%	
この中にあてはまるものはない	16.1%	13.7%	10.5%	6.7%	-9.4%	

** p<.01. 残差分析を行った結果、1%水準で統計的に有意に値が高い箇所に網かけ、有意に値が低い箇所に下線を付した。「差」は「役員、部長」-「一般社員・職員」。

勤務先の職位で検討した結果、「役員、部長」は、概して「仕事上で、うまくできる自信がある」と回答した割合が高かった。「役員、部長」と「一般社員・職員」で最も差が大きかったのは「人に指示すること」であり、以下、「人を説得したり、交渉したりこと」「人に教えること」「人と段取りの調整をすること」「人前で話すこと」「人材や時間の管理を行うこと」「計算したり、データを扱うこと」と続いていた。(図表6)。

・「特定の分野でいろいろな仕事をたくさん経験してきている」人は、1つの仕事を長く経験した人、いろいろな分野で仕事をした人に比べて、職業スキルに自信がある

図表7 自信がある職業スキルの違い×これまでのキャリア

	特定の分野で1つの仕事を長く経験してきている N=741	特定の分野でいろいろな仕事をたくさん経験してきている N=403	いろいろな分野で1つの仕事を長く経験してきている N=203	いろいろな分野でいろいろな仕事をたくさん経験してきている N=417	差	sig.
書類を読むこと	41.8%	50.6%	34.5%	40.5%	10.1%	**
書類を書くこと	30.8%	40.0%	28.6%	26.9%	13.1%	**
人の話を聞くこと	46.0%	53.8%	40.4%	47.7%	6.1%	**
人前で話すこと	19.2%	27.0%	14.8%	18.2%	8.8%	**
数学や科学の知識を使うこと	11.9%	14.4%	6.9%	10.1%	4.3%	
計算したり、データを扱うこと	31.2%	40.2%	25.1%	29.3%	10.9%	**
英語その他の外国語を用いること	6.3%	13.2%	3.0%	6.2%	7.0%	**
異なる文化の人とやりとりをすること	6.9%	13.2%	5.4%	8.6%	4.6%	**
特定の業界の知識を用いること	17.1%	21.1%	8.9%	11.8%	9.3%	**
特定の商品やサービスの知識を用いること	11.6%	20.6%	13.3%	12.7%	7.9%	**
人と協同で作業すること	39.8%	48.4%	38.9%	35.3%	13.1%	**
人と段取りの調整をすること	27.4%	39.0%	26.6%	26.1%	12.9%	**
人を説得したり、交渉したりすること	14.3%	22.6%	10.8%	15.1%	7.5%	**
人に指示すること	17.3%	26.6%	13.8%	16.8%	9.8%	**
人に教えること	24.3%	34.2%	20.7%	24.9%	9.3%	**
人にサービスをすること	21.3%	26.1%	24.6%	24.9%	1.2%	
接客すること	20.9%	24.3%	31.0%	28.5%	-4.2%	**
人やイベントのコーディネートを行うこと	5.8%	10.2%	5.4%	6.7%	3.5%	
他人との対立を解決すること	5.7%	11.2%	6.4%	6.7%	4.5%	**
人材や時間の管理を行うこと	11.1%	16.4%	8.4%	13.4%	3.0%	
作業に必要な道具、機材を選択すること	17.1%	23.1%	17.2%	22.1%	1.0%	
資材や道具の管理を行うこと	14.6%	22.6%	16.3%	19.4%	3.2%	**
据付やインストールを行うこと	10.7%	20.6%	9.4%	12.9%	7.7%	**
プログラミングを行うこと	8.0%	9.2%	3.9%	2.9%	6.3%	**
機械の操作やコントロールを行うこと	10.7%	16.6%	8.4%	14.4%	2.2%	**
機械や部品のメンテナンスを行うこと	5.9%	10.9%	3.9%	9.4%	1.5%	**
機械のトラブルを解決すること	6.2%	12.9%	5.4%	7.9%	5.0%	**
機械やシステムを修理すること	4.3%	7.9%	2.0%	5.3%	2.6%	**
危険な条件で作業をすること	1.1%	2.7%	1.5%	2.9%	-0.2%	
体力的にきつい仕事をすること	3.5%	6.5%	7.4%	7.0%	-0.5%	
この中であてはまるものはない	22.0%	13.9%	20.2%	27.3%	-13.4%	**

p<.01。残差分析を行った結果、1%水準で統計的に有意に値が高い箇所に網かけ、有意に値が低い箇所に下線を付した。「差」は「特定の分野でいろいろな仕事をたくさん経験してきている」 - 「いろいろな分野でいろいろな仕事をたくさん経験してきている」。

これまでのキャリア別に検討した結果、「特定の分野でいろいろな仕事をたくさん経験してきている」と回答した者が、概して「仕事上で、うまくできる自信がある」と回答した割合が高かった。「特定の分野でいろいろな仕事をたくさん経験してきている」と回答した者と「いろいろな分野でいろいろな仕事をたくさん経験してきている」と回答した者で差が最も大きかったのは「人と共同で作業すること」および「書類を書くこと」であり、以下、「人と段取りの調整をすること」「計算したり、データを扱うこと」「書類を読むこと」と続いていた(図表7)。

- ・「人を説得したり、交渉したりすること」「計算したり、データを扱うこと」「数学や科学の知識を使うこと」などの職業スキルに自信がある場合、収入が高い
- ・「特定の業界の知識を用いること」「人と共同で作業すること」「数学や科学の知識を使うこと」などの職業スキルに自信がある場合、仕事に対する満足感が高い

図表8 職業スキルが各指標に与える影響:重回帰分析

	収入	満足感
書類を読むこと		
書類を書くこと		
人の話を聞くこと		
人前で話すこと		
数学や科学の知識を使うこと	.048	.062
計算したり、データを扱うこと	.059	
英語その他の外国語を用いること	.043	
異なる文化の人とやりとりをすること		
特定の業界の知識を用いること		.097
特定の商品やサービスの知識を用いること		
人と協同で作業すること		.072
人と段取りの調整をすること		
人を説得したり、交渉したりすること	.076	
人に指示すること		
人に教えること		
人にサービスをすること		
接客すること	-.040	
人やイベントのコーディネートを行うこと		
他人との対立を解決すること		
人材や時間の管理を行うこと		
作業に必要な道具、機材を選択すること		
資材や道具の管理を行うこと	-.061	
据付やインストールを行うこと		
プログラミングを行うこと		-.047
機械の操作やコントロールを行うこと		
機械や部品のメンテナンスを行うこと		
機械のトラブルを解決すること		
機械やシステムを修理すること		
危険な条件で作業をすること		-.052
体力的にきつい仕事をすること	.037	
調整変数 性別(1=男性、2=女性)	-.159	.114
年代	.107	.129
就労状況(正社員か否か)	.625	.136
調整済みR ²	.472	.075

ステップワイズ法による変数選択式の重回帰分析を行った。最終的に5%水準で統計的に有意な変数のみ回帰式に含められた。

収入および満足感に影響を与える職業スキルを特定するために重回帰分析(ステップワイズ法による変数選択式)を行った。その結果、収入にプラスの影響を与えるのは「人を説得したり、交渉したりすること」「計算したり、データを扱うこと」「数学や科学の知識を使うこと」に対する自信であった。また、仕事に対する満足感にプラスの影響を与えるのは「特定の業界の知識を用いること」「人と共同で作業すること」「数学や科学の知識を使うこと」に対する自信であった。なお、「接客すること」「資材や道具の管理を行うこと」は収入にマイナスの影響を与えていた(図表8)。

(2) 成人の生活スキル

- ・一般成人が最も自信がある生活スキルは「人との約束を守る」。次いで「社会人としてのマナーを守る」「あいさつをする」「パソコンで必要な情報を検索する」
- ・最も自信がない生活スキルは「将来の職業生活に備える」。次いで「自分の人生設計を立てる」「自分の悪いところを直す」「将来の計画を立てる」

図表9 自信がある生活スキル(降順および昇順に並べ替え)

降順に並べ替え	かなり自信がある + やや自信がある	昇順に並べ替え	かなり自信がある + やや自信がある
人との約束を守る	76.3%	将来の職業生活に備える	22.3%
社会人としてのマナーを守る	74.5%	自分の人生設計を立てる	25.8%
あいさつをする	72.6%	自分の悪いところを直す	26.4%
パソコンで必要な情報を検索する	72.3%	将来の計画を立てる	26.8%
朝、決まった時間にひとりで起きる	70.8%	人と交渉する	27.8%
時間に遅れない	67.7%	必要があれば就職活動をうまく行う	28.5%
決まったやり方でゴミを出す	66.6%	友達をつくる	29.3%
なすべきことを一生懸命やる	65.3%	定期的に適度な運動をする	31.5%
パソコンでメールのやりとりをする	64.4%	自分の主張をはっきり言う	33.7%
職場の目標やルールは大事にする	63.7%	新たな職場環境になじむ	33.8%
職場に必要な事柄を勉強する	60.5%	苦手な人ともうまく働く	34.5%
食事を決まった時間にきちんと取る	60.1%	家計簿をつける	35.1%
職場に必要な技術を身につける	59.9%	必要があれば新たな職場を見つける	36.3%
人に力を貸す	58.6%	自分の能力を正確に把握する	38.2%
食事を自分で作る	56.2%	部屋をこまめにそうじをする	38.3%
わからないことをたずねる	55.5%	日々の計画を立てて、計画を守る	38.7%
人の話をさえぎらずに聞く	54.0%	ビジネスマナーを理解している	40.1%
新しい道具や機能をうまく使いこなす	46.8%	できないことは断る	42.2%
貯金をする	46.2%	自分の長所・短所を理解する	42.9%
困難にあってもあきらめない	45.4%	人と世間話をする	43.6%
人と世間話をする	43.6%	困難にあってもあきらめない	45.4%
自分の長所・短所を理解する	42.9%	貯金をする	46.2%
できないことは断る	42.2%	新しい道具や機能をうまく使いこなす	46.8%
ビジネスマナーを理解している	40.1%	人の話をさえぎらずに聞く	54.0%
日々の計画を立てて、計画を守る	38.7%	わからないことをたずねる	55.5%
部屋をこまめにそうじをする	38.3%	食事を自分で作る	56.2%
自分の能力を正確に把握する	38.2%	人に力を貸す	58.6%
必要があれば新たな職場を見つける	36.3%	職場に必要な技術を身につける	59.9%
家計簿をつける	35.1%	食事を決まった時間にきちんと取る	60.1%
苦手な人ともうまく働く	34.5%	職場に必要な事柄を勉強する	60.5%
新たな職場環境になじむ	33.8%	職場の目標やルールは大事にする	63.7%
自分の主張をはっきり言う	33.7%	パソコンでメールのやりとりをする	64.4%
定期的に適度な運動をする	31.5%	なすべきことを一生懸命やる	65.3%
友達をつくる	29.3%	決まったやり方でゴミを出す	66.6%
必要があれば就職活動をうまく行う	28.5%	時間に遅れない	67.7%
人と交渉する	27.8%	朝、決まった時間にひとりで起きる	70.8%
将来の計画を立てる	26.8%	パソコンで必要な情報を検索する	72.3%
自分の悪いところを直す	26.4%	あいさつをする	72.6%
自分の人生設計を立てる	25.8%	社会人としてのマナーを守る	74.5%
将来の職業生活に備える	22.3%	人との約束を守る	76.3%

成人の生活スキルは、図表9に示した質問項目に自信の有無をたずねた。その結果、最も自信があると回答される割合が高かったのは「人との約束を守る(76.3%)」であった。以下、「社会人としてのマナーを守る(74.5%)」「あいさつをする(72.6%)」「パソコンで必要な情報を検索する(72.3%)」と続いていた。また、自信があると回答される割合が最も低かったのは「将来の職業生活に備える(22.3%)」であった。以下、「自分の人生設計を立てる(25.8%)」「自分の悪いところを直す(26.4%)」「将来の計画を立てる(26.8%)」と続いていた(図表9)。

・女性の方が男性よりも生活スキルに自信をもつ。最も差がみられたのは「食事を自分で作る」。次いで「人と世間話をする」「決まったやり方でゴミを出す」

図表10 自信がある生活スキル×性別

	男性 N=881	女性 N=883	差	sig.
朝、決まった時間にひとりで起きる	65.4%	76.2%	10.8%	**
食事を決まった時間にきちんと取る	52.6%	67.6%	15.0%	**
部屋をこまめにそうじをする	31.4%	45.1%	13.7%	**
決まったやり方でゴミを出す	57.1%	76.1%	19.0%	**
食事を自分で作る	39.2%	73.2%	34.0%	**
定期的に適度な運動をする	28.7%	34.2%	5.5%	
家計簿をつける	26.2%	43.9%	17.7%	**
貯金をする	37.3%	55.0%	17.7%	**
日々の計画を立てて、計画を守る	31.2%	46.1%	14.9%	**
時間に遅れない	63.7%	71.7%	8.0%	**
人との約束を守る	68.6%	84.0%	15.4%	**
社会人としてのマナーを守る	65.2%	83.9%	18.7%	**
あいさつをする	64.0%	81.2%	17.2%	**
人に力を貸す	50.1%	67.2%	17.1%	**
苦手な人ともうまく働く	26.2%	42.7%	16.5%	**
人と交渉する	26.0%	29.6%	3.6%	
わからないことをたずねる	47.0%	64.0%	17.0%	**
人と世間話をする	33.8%	53.3%	19.5%	**
人の話をさえぎらずに聞く	48.1%	59.8%	11.7%	**
できないことは断る	42.3%	42.1%	-0.2%	
友達をつくる	20.7%	37.8%	17.1%	**
新たな職場環境になじむ	26.3%	41.2%	14.9%	**
自分の主張をはっきり言う	31.6%	35.9%	4.3%	
なすべきことを一生懸命やる	57.0%	73.6%	16.6%	**
困難にあってもあきらめない	41.2%	49.6%	8.4%	**
職場の目標やルールは大事にする	54.5%	72.8%	18.3%	**
職場に必要な事柄を勉強する	52.7%	68.4%	15.7%	**
職場に必要な技術を身につける	52.4%	67.4%	15.0%	**
必要があれば新たな職場を見つける	28.8%	43.8%	15.0%	**
必要があれば就職活動をうまく行う	21.0%	36.0%	15.0%	**
ビジネスマナーを理解している	32.9%	47.2%	14.3%	**
自分の能力を正確に把握する	34.7%	41.7%	7.0%	**
自分の長所・短所を理解する	36.5%	49.3%	12.8%	**
自分の悪いところを直す	20.2%	32.5%	12.3%	**
将来の計画を立てる	20.8%	32.8%	12.0%	**
自分の人生設計を立てる	19.6%	31.9%	12.3%	**
将来の職業生活に備える	17.1%	27.4%	10.3%	**
パソコンでメールのやりとりをする	59.6%	69.2%	9.6%	**
パソコンで必要な情報を検索する	69.4%	75.2%	5.8%	**
新しい道具や機能をうまく使いこなす	46.2%	47.3%	1.1%	

** p<.01 残差分析の結果、1%水準で有意に値が大きい箇所に網掛けを付した。「差」は女性 - 男性。

性別に検討した結果、女性の方が、概して「自信がある」と回答した割合が高かった。男性と女性で最も大きな差がみられたのは「食事を自分で作る」であった。以下、「人と世間話をする」「決まったやり方でゴミを出す」「社会人としてのマナーを守る」「職場の目標やルールは大事にする」と続いていた(図表10)。

・年齢が高いほど生活スキルに自信をもつ。50代と20代で最も差が大きかったのは「朝、決まった時間にひとりで起きる」。次いで「食事を自分で作る」「ビジネスマナーを理解している」「食事を決まった時間にきちんと取る」「時間に遅れない」

図表11 自信がある生活スキル×年齢

	20代 N=440	30代 N=441	40代 N=441	50代 N=442	差	sig.
朝、決まった時間にひとりで起きる	59.1%	66.2%	72.3%	85.5%	26.4%	**
食事を決まった時間にきちんと取る	52.3%	52.4%	62.1%	73.5%	21.2%	**
部屋をこまめにそうじをする	39.1%	35.6%	35.4%	43.0%	3.9%	
決まったやり方でゴミを出す	57.3%	67.8%	66.9%	74.4%	17.1%	**
食事を自分で作る	46.6%	52.4%	55.8%	69.9%	23.3%	**
定期的に適度な運動をする	32.5%	31.3%	24.7%	37.3%	4.8%	**
家計簿をつける	37.0%	35.4%	32.7%	35.3%	-1.7%	
貯金をする	52.3%	47.4%	40.8%	44.3%	-8.0%	**
日々の計画を立てて、計画を守る	38.6%	37.9%	35.8%	42.3%	3.7%	
時間に遅れない	60.0%	63.5%	68.3%	79.0%	19.0%	**
人との約束を守る	68.6%	73.7%	77.6%	85.3%	16.7%	**
社会人としてのマナーを守る	66.6%	72.3%	74.8%	84.4%	17.8%	**
あいさつをする	67.0%	67.1%	74.1%	82.1%	15.1%	**
人に力を貸す	53.6%	52.2%	58.7%	69.9%	16.3%	**
苦手な人ともうまく働く	33.9%	29.3%	32.7%	42.1%	8.2%	**
人と交渉する	23.4%	23.6%	25.2%	38.9%	15.5%	**
わからないことをたずねる	48.6%	51.5%	54.9%	67.0%	18.4%	**
人と世間話をする	39.1%	41.7%	41.7%	51.8%	12.7%	**
人の話をさえぎらずに聞く	49.1%	54.4%	50.1%	62.2%	13.1%	**
できないことは断る	33.4%	39.5%	45.4%	50.7%	17.3%	**
友達をつくる	27.3%	25.9%	25.2%	38.7%	11.4%	**
新たな職場環境になじむ	30.9%	29.0%	30.6%	44.6%	13.7%	**
自分の主張をはっきり言う	28.9%	32.0%	32.9%	41.2%	12.3%	**
なすべきことを一生懸命やる	60.2%	64.6%	66.4%	69.9%	9.7%	
困難にあってもあきらめない	42.5%	43.8%	41.3%	54.1%	11.6%	**
職場の目標やルールは大事にする	56.8%	61.9%	63.9%	71.9%	15.1%	**
職場に必要な事柄を勉強する	54.1%	55.6%	61.7%	70.8%	16.7%	**
職場に必要な技術を身につける	54.3%	54.6%	61.0%	69.7%	15.4%	**
必要があれば新たな職場を見つける	35.0%	36.1%	34.5%	39.8%	4.8%	
必要があれば就職活動をうまく行う	26.4%	29.9%	27.0%	30.8%	4.4%	
ビジネスマナーを理解している	30.7%	35.6%	40.8%	53.2%	22.5%	**
自分の能力を正確に把握する	34.5%	37.4%	34.9%	45.9%	11.4%	**
自分の長所・短所を理解する	37.3%	41.7%	41.7%	50.9%	13.6%	**
自分の悪いところを直す	25.0%	25.4%	23.4%	31.7%	6.7%	
将来の計画を立てる	29.8%	25.4%	20.9%	31.2%	1.4%	**
自分の人生設計を立てる	29.1%	24.0%	20.0%	30.1%	1.0%	**
将来の職業生活に備える	27.5%	21.3%	18.8%	21.5%	-6.0%	
パソコンでメールのやりとりをする	59.3%	63.0%	63.0%	72.2%	12.9%	**
パソコンで必要な情報を検索する	68.0%	74.4%	71.0%	75.8%	7.8%	
新しい道具や機能をうまく使いこなす	46.6%	45.4%	44.0%	51.1%	4.5%	

** p<.01 残差分析の結果、1%水準で有意に値が大きい箇所を網掛けを付した。「差」は50代 - 20代。

年齢が高い方が、概して「自信がある」と回答した割合が高かった。50代と20代で最も差が大きかったのは「朝、決まった時間にひとりで起きる」であった。以下、「食事を自分で作る」「ビジネスマナーを理解している」「食事を決まった時間にきちんと取る」「時間に遅れない」と続いていた(図表11)。

・年収が高いほど生活スキルに自信をもつ。特に「600万～」と「～100万」で差が大きかったのは「ビジネスマナーを理解している」。次いで「人と交渉する」「困難にあってもあきらめない」「自分の能力を正確に把握する」など

図表12 自信がある生活スキル×最近1年間の税込み個人年収

	収入 なし N=523	～100万 N=408	～200万 N=253	～300万 N=196	～400万 N=143	～600万 N=126	600万～ N=115	差	sig.
朝、決まった時間にひとりで起きる	66.9%	67.9%	72.3%	69.9%	77.6%	81.0%	77.4%	9.5%	**
食事を決まった時間にきちんと取る	62.0%	57.6%	58.1%	56.6%	60.1%	61.9%	68.7%	11.1%	
部屋をこまめにそうじをする	40.9%	37.0%	34.8%	38.3%	36.4%	33.3%	46.1%	9.1%	
決まったやり方でゴミを出す	69.6%	68.6%	66.0%	62.2%	62.2%	64.3%	62.6%	-6.0%	
食事を自分で作る	64.1%	57.6%	55.7%	49.0%	50.3%	45.2%	47.8%	-9.8%	**
定期的に適度な運動をする	30.4%	28.2%	25.7%	31.1%	37.1%	36.5%	48.7%	20.5%	**
家計簿をつける	36.7%	34.1%	31.6%	31.6%	37.1%	40.5%	36.5%	2.4%	
貯金をする	43.6%	44.1%	41.9%	47.4%	49.0%	60.3%	53.9%	9.8%	**
日々の計画を立てて、計画を守る	41.9%	34.8%	31.6%	33.7%	43.4%	40.5%	53.9%	19.1%	**
時間に遅れない	67.7%	65.4%	68.0%	64.8%	67.1%	72.2%	75.7%	10.3%	
人との約束を守る	77.2%	74.0%	75.9%	74.0%	76.9%	77.8%	82.6%	8.6%	
社会人としてのマナーを守る	74.4%	71.1%	76.7%	71.9%	76.9%	79.4%	79.1%	8.0%	
あいさつをする	71.9%	69.9%	74.3%	70.4%	75.5%	77.0%	77.4%	7.5%	
人に力を貸す	58.1%	53.2%	60.9%	59.7%	61.5%	57.1%	71.3%	18.1%	
苦手な人とうまく働く	33.5%	29.2%	36.4%	33.7%	43.4%	31.0%	47.8%	18.6%	**
人と交渉する	23.9%	22.8%	28.1%	24.0%	35.7%	34.1%	52.2%	29.4%	**
わからないことをたずねる	51.8%	52.7%	59.3%	53.1%	63.6%	60.3%	62.6%	9.9%	
人と世間話をする	43.0%	41.9%	41.5%	38.8%	54.5%	44.4%	50.4%	8.5%	
人の話をさげざらずに聞く	53.3%	53.4%	58.1%	50.5%	53.8%	54.0%	55.7%	2.3%	
できないことは断る	42.1%	40.2%	43.1%	37.8%	48.3%	42.9%	47.8%	7.6%	
友達をつくる	27.2%	24.8%	34.4%	28.6%	33.6%	30.2%	38.3%	13.5%	
新たな職場環境になじむ	31.4%	28.9%	37.2%	35.2%	38.5%	34.9%	45.2%	16.3%	
自分の主張をはっきり言う	31.9%	28.9%	34.0%	31.6%	36.4%	42.9%	48.7%	19.8%	**
なすべきことを一生懸命やる	65.0%	63.5%	69.6%	63.3%	65.7%	62.9%	69.6%	6.1%	
困難にあってもあきらめない	41.3%	41.9%	48.6%	41.3%	50.3%	51.6%	63.5%	21.6%	**
職場の目標やルールは大事にする	63.9%	59.8%	68.4%	59.7%	65.7%	62.7%	71.3%	11.5%	
職場に必要な事柄を勉強する	60.2%	58.8%	60.9%	56.1%	65.0%	61.1%	68.7%	9.9%	
職場に必要な技術を身につける	59.8%	57.1%	58.9%	54.6%	62.2%	68.3%	69.6%	12.5%	
必要があれば新たな職場を見つける	34.6%	36.0%	38.7%	34.2%	42.0%	34.9%	38.3%	2.3%	
必要があれば就職活動をうまく行う	26.0%	28.2%	26.9%	31.1%	33.6%	27.8%	34.8%	6.6%	
ビジネスマナーを理解している	35.4%	35.5%	38.7%	39.3%	49.7%	44.4%	65.2%	29.7%	**
自分の能力を正確に把握する	35.2%	33.8%	35.2%	36.2%	46.2%	50.0%	54.8%	21.0%	**
自分の長所・短所を理解する	40.2%	39.7%	44.3%	36.2%	49.0%	53.2%	56.5%	16.8%	**
自分の悪いところを直す	27.3%	24.0%	26.1%	21.9%	30.1%	19.0%	41.7%	17.7%	**
将来の計画を立てる	25.8%	24.3%	27.3%	22.4%	30.1%	29.4%	40.0%	15.7%	
自分の人生設計を立てる	24.9%	22.3%	26.9%	20.9%	29.4%	27.8%	41.7%	19.4%	**
将来の職業生活に備える	19.5%	20.8%	23.3%	23.0%	27.3%	18.3%	34.8%	14.0%	
パソコンでメールのやりとりをする	63.1%	62.5%	63.6%	57.7%	65.7%	77.0%	74.8%	12.3%	**
パソコンで必要な情報を検索する	69.8%	72.1%	72.7%	67.9%	74.1%	81.0%	79.1%	7.0%	
新しい道具や機能をうまく使いこなす	41.5%	45.6%	46.6%	45.4%	55.2%	57.1%	55.7%	10.1%	**

** p<.01. 残差分析を行った結果、1%水準で統計的に有意に値が高い箇所に網かけ、有意に値が低い箇所に下線を付した。「差」は「600万～」-「～100万」。

最近1年間の税込み個人年収別に検討した結果、年収が高いほど、概して「自信がある」と回答した割合が高かった。特に「600万～」と「～100万」で最も差が大きかったのは「ビジネスマナーを理解している」であった。以下、「人と交渉する」「困難にあってもあきらめない」「自分の能力を正確に把握する」「定期的に適度な運動をする」と続いていた。なお、「収入なし」の者は「食事を自分で作る」に「自信がある」と回答した割合が高かった(図表12)。

・「管理的職業」に就いている者は、「定期的に適度な運動をする」「人と交渉する」「ビジネスマナーを理解している」に自信をもつ

図表13 自信がある生活スキル×現在の職業

	専門的 技術的 職業 N=194	管理的 職業 N=37	事務的 職業 N=244	販売の 職業 N=75	サービ スの 職業 N=93	運輸 通信の 職業 N=25	生産 工程 建設 軽作業 などの 仕事 N=79	sig.
朝、決まった時間にひとりで起きる	74.7%	83.8%	75.4%	73.3%	71.0%	88.0%	72.2%	
食事を決まった時間にきちんと取る	62.4%	64.9%	58.6%	52.0%	55.9%	60.0%	63.3%	
部屋をこまめにそうじをする	37.1%	48.6%	35.2%	29.3%	43.0%	40.0%	31.6%	
決まったやり方でゴミを出す	62.4%	59.5%	68.0%	64.0%	63.4%	76.0%	54.4%	
食事を自分で作る	55.7%	43.2%	50.4%	49.3%	55.9%	52.0%	36.7%	
定期的に適度な運動をする	34.0%	51.4%	33.6%	18.7%	26.9%	36.0%	21.5%	**
家計簿をつける	35.6%	45.9%	39.3%	30.7%	31.2%	24.0%	17.7%	
貯金をする	56.2%	45.9%	51.2%	46.7%	46.2%	32.0%	32.9%	
日々の計画を立てて、計画を守る	43.8%	54.1%	37.7%	34.7%	31.2%	40.0%	29.1%	
時間に遅れない	65.5%	83.8%	66.8%	69.3%	64.5%	76.0%	65.8%	
人との約束を守る	76.8%	86.5%	80.3%	77.3%	68.8%	76.0%	70.9%	
社会人としてのマナーを守る	74.7%	89.2%	79.5%	69.3%	72.0%	76.0%	73.4%	
あいさつをする	74.2%	83.8%	75.4%	68.0%	71.0%	84.0%	70.9%	
人に力を貸す	60.8%	67.6%	62.7%	57.3%	62.4%	64.0%	53.2%	
苦手な人ともうまく働く	39.2%	45.9%	36.1%	34.7%	34.4%	32.0%	31.6%	
人と交渉する	33.0%	62.2%	28.7%	20.0%	35.5%	20.0%	20.3%	**
わからないことをたずねる	57.7%	59.5%	59.0%	49.3%	61.3%	60.0%	54.4%	
人と世間話をする	45.4%	51.4%	48.8%	40.0%	48.4%	36.0%	34.2%	
人の話をささげらずに聞く	53.6%	54.1%	55.7%	60.0%	59.1%	56.0%	49.4%	
できないことは断る	45.4%	32.4%	41.4%	34.7%	40.9%	48.0%	38.0%	
友達をつくる	34.5%	32.4%	30.7%	18.7%	37.6%	20.0%	26.6%	
新たな職場環境になじむ	38.7%	40.5%	37.7%	29.3%	38.7%	32.0%	24.1%	
自分の主張をはっきり言う	37.6%	54.1%	33.6%	26.7%	36.6%	40.0%	22.8%	
なすべきことを一生懸命やる	66.0%	75.7%	63.9%	68.0%	61.3%	64.0%	72.2%	
困難にあってもあきらめない	54.1%	70.3%	48.8%	42.7%	52.7%	36.0%	46.8%	
職場の目標やルールは大事にする	64.9%	81.1%	66.4%	66.7%	61.3%	48.0%	65.8%	
職場で必要な事柄を勉強する	60.8%	81.1%	62.3%	61.3%	57.0%	48.0%	64.6%	
職場に必要な技術を身につける	66.0%	81.1%	57.4%	58.7%	53.8%	52.0%	65.8%	
必要があれば新たな職場を見つける	40.7%	48.6%	34.8%	32.0%	44.1%	44.0%	29.1%	
必要があれば就職活動をうまく行う	35.6%	37.8%	31.1%	29.3%	35.5%	20.0%	19.0%	
ビジネスマナーを理解している	46.9%	70.3%	49.6%	36.0%	32.3%	48.0%	29.1%	**
自分の能力を正確に把握する	46.9%	62.2%	41.8%	36.0%	32.3%	36.0%	35.4%	
自分の長所・短所を理解する	50.0%	64.9%	49.6%	30.7%	36.6%	44.0%	38.0%	**
自分の悪いところを直す	28.4%	35.1%	29.9%	25.3%	23.7%	20.0%	21.5%	
将来の計画を立てる	32.0%	45.9%	26.6%	24.0%	32.3%	28.0%	17.7%	
自分の人生設計を立てる	30.9%	43.2%	27.0%	21.3%	28.0%	24.0%	19.0%	
将来の職業生活に備える	26.8%	37.8%	25.0%	18.7%	26.9%	20.0%	11.4%	
パソコンでメールのやりとりをする	72.2%	81.1%	68.4%	60.0%	64.5%	60.0%	59.5%	
パソコンで必要な情報を検索する	77.8%	83.8%	77.9%	69.3%	69.9%	72.0%	68.4%	
新しい道具や機能をうまく使いこなす	53.1%	64.9%	51.2%	49.3%	48.4%	40.0%	49.4%	

** p<.01. 残差分析を行った結果、1%水準で統計的に有意に値が高い箇所に網かけ、有意に値が低い箇所に下線を付した。なお、専門的・技術的職業は「教師・看護師・エンジニア・デザイナーなど」、管理的職業は「会社や役所での課長・部長以上など」、事務的職業は「会社や役所での一般事務・経理、内勤の営業など」、販売の職業は「小売店やコンビニなどでの販売や外勤のセールス、不動産売買など」、サービスの職業は「接客、飲食物調理、理容師・美容師、パチンコ店店員など」、運輸・通信の職業は「鉄道運転、自動車運転、郵便の集配・配達など」、生産工程・建設・軽作業などの仕事は「工場のオペレーターや組立工、電気工事、軽作業など」。

現在の職業別に検討した結果、「管理的職業」に就いている者を中心に統計的に有意な結果がみられた。特に、「管理的職業」に就いている者は「定期的に適度な運動をする」「人と交渉する」「ビジネスマナーを理解している」に「自信がある」と回答した割合が高かった。また、「販売の職業」に就いている者は「自分の長所・短所を理解する」に「自信がある」と回答する割合が低かった。さらに「生産工程・建設・軽作業などの仕事」に就いている者は「ビジネスマナーを理解している」に「自信がある」と回答する割合が低かった(図表13)。

- ・「定期的に適度な運動をする」「ビジネスマナーを理解している」「貯金をする」「人と交渉する」などの生活スキルに自信がある場合、収入が高い
- ・「苦手な人ともうまく働く」「自分の能力を正確に把握する」「社会人としてのマナーを守る」などの生活スキルに自信がある場合、満足感が高い

図表14 生活スキルが各指標に与える影響(重回帰分析)

	収入	満足感
朝、決まった時間にひとりで起きる		
食事を決まった時間にきちんと取る		
部屋をこまめにそうじをする		
決まったやり方でゴミを出す		
食事を自分で作る	-.070	
定期的に適度な運動をする	.079	
家計簿をつける		
貯金をする	.050	
日々の計画を立てて、計画を守る		
時間に遅れない		
人との約束を守る		
社会人としてのマナーを守る		.053
あいさつをする		
人に力を貸す		
苦手な人ともうまく働く		.084
人と交渉する	.044	
わからないことをたずねる		
人と世間話をする		
人の話をさえぎらずに聞く	-.049	
できないことは断る		
友達をつくる		
新たな職場環境になじむ		
自分の主張をはっきり言う		
なすべきことを一生懸命やる		
困難にあってもあきらめない		
職場の目標やルールは大事にする		
職場に必要な事柄を勉強する		
職場に必要な技術を身につける		
必要があれば新たな職場を見つける		
必要があれば就職活動をうまく行う		
ビジネスマナーを理解している	.078	
自分の能力を正確に把握する		.084
自分の長所・短所を理解する		
自分の悪いところを直す		
将来の計画を立てる		
自分の人生設計を立てる		
将来の職業生活に備える		
パソコンでメールのやりとりをする		
パソコンで必要な情報を検索する		
新しい道具や機能をうまく使いこなす		
調整変数 性別(1=男性、2=女性)	-.173	.087
年代	.117	.127
就労状況(正社員か否か)	.615	.131
調整済みR ²	.473	.079

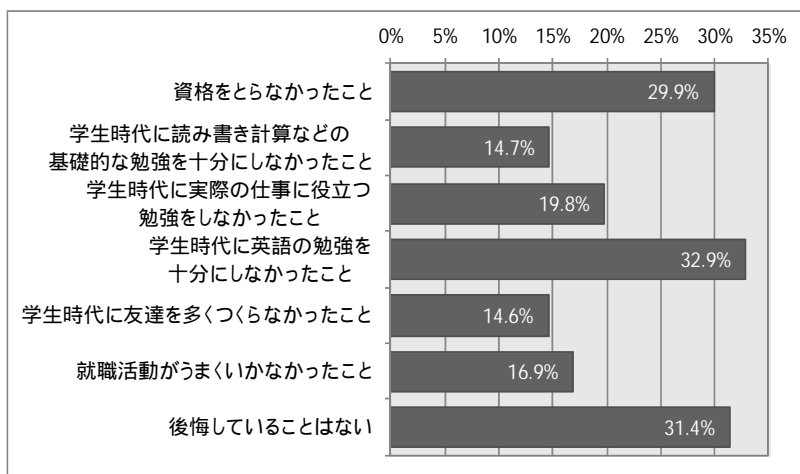
ステップワイズ法による変数選択式の重回帰分析を行った。最終的に5%水準で統計的に有意な変数のみ回帰式に含められた。

収入および満足感に影響を与える生活スキルを特定するために重回帰分析(ステップワイズ法による変数選択式)を行った。その結果、収入にプラスの影響を与えるのは「定期的に適度な運動をする」「ビジネスマナーを理解している」「貯金をする」「人と交渉する」などの生活スキルに対する自信であった。また、仕事に対する満足感にプラスの影響を与えるのは「苦手な人ともうまく働く」「自分の能力を正確に把握する」「社会人としてのマナーを守る」に対する自信であった。なお、「食事を自分で作る」「人の話をさえぎらずに聞く」に対する自信は収入にマイナスの影響を与えていた(図表14)。

(3) 成人の後悔

- ・成人が後悔するのは「英語の勉強を十分にできなかったこと」。次いで、「資格をとらなかったこと」「実際の仕事に役立つ勉強をしなかったこと」。ただし「後悔はない」も多い
- ・20代は「友達を多くつくらなかったこと」「就職活動がうまくいかなかったこと」を後悔

図表15 後悔すること



図表14に示した質問項目で、成人の職業・キャリア上の後悔についてたずねた。最も多かった回答は「学生時代に英語の勉強を十分にできなかったこと」(32.9%)であり、以下、「資格をとらなかったこと」(29.9%)、「学生時代に実際の仕事に役立つ勉強をしなかったこと」(19.8%)と続いていた。なお、「後悔していることはない」(31.4%)も多かった(図表15)。

図表16 後悔すること×年齢

	20代 N=440	30代 N=441	40代 N=441	50代 N=442	sig.
資格をとらなかったこと	28.9%	32.2%	29.9%	28.7%	
学生時代に読み書き計算などの基礎的な勉強を十分にできなかったこと	18.4%	15.9%	14.3%	<u>10.2%</u>	**
学生時代に実際の仕事に役立つ勉強をしなかったこと	22.5%	21.8%	20.2%	14.9%	
学生時代に英語の勉強を十分にできなかったこと	30.0%	32.0%	32.4%	37.1%	
学生時代に友達を多くつくらなかったこと	<u>20.5%</u>	17.7%	<u>10.7%</u>	<u>9.7%</u>	**
就職活動がうまくいかなかったこと	25.0%	20.2%	13.8%	<u>8.6%</u>	**
後悔していることはない	33.4%	29.0%	31.1%	32.1%	

** p<.01。残差分析を行った結果、1%水準で統計的に有意に値が高い箇所に網かけ、有意に値が低い箇所に下線を付した。

年齢別に検討した結果、年齢が若い方が、概して「後悔する」と回答した割合が高かった。特に、20代は50代に比べて「学生時代に友達を多くつくらなかったこと」「就職活動がうまくいかなかったこと」で後悔する割合が高かった。また、50代は「学生時代に読み書き計算などの基礎的な勉強を十分にできなかったこと」で後悔する割合が低かった(図表16)。

- ・「収入なし」の者は「資格をとらなかつたこと」「読み書き計算などの基礎的な勉強を十分にしなかつたこと」「実際の仕事に役立つ勉強をしなかつたこと」を後悔
- ・おもな家計負担者が「おもに親」の者は「読み書き計算などの基礎的な勉強を十分にしなかつたこと」「友達を多くつくらなかつたこと」「就職活動がうまくいかなかつたこと」を後悔

図表17 後悔すること×最近1年間の税込み個人年収

	収入 なし N=523	～100万 N=408	～200万 N=253	～300万 N=196	～400万 N=143	～600万 N=126	600万～ N=115	sig.
資格をとらなかつたこと	35.2%	30.4%	33.6%	30.6%	25.2%	18.3%	13.9%	**
学生時代に読み書き計算などの基礎的な勉強を十分にしなかつたこと	18.9%	15.4%	16.2%	11.2%	9.1%	8.7%	8.7%	**
学生時代に実際の仕事に役立つ勉強をしなかつたこと	23.7%	21.6%	20.6%	16.3%	13.3%	18.3%	10.4%	**
学生時代に英語の勉強を十分にしなかつたこと	33.7%	31.4%	34.0%	33.2%	25.9%	34.9%	38.3%	
学生時代に友達を多くつくらなかつたこと	16.1%	15.4%	14.6%	15.8%	13.3%	12.7%	7.0%	
就職活動がうまくいかなかつたこと	18.5%	22.5%	19.0%	15.3%	9.8%	9.5%	4.3%	**
後悔していることはない	30.6%	27.5%	29.2%	31.6%	36.4%	34.9%	43.5%	

** p<.01. 残差分析を行った結果、1%水準で統計的に有意に値が高い箇所¹に網かけ、有意に値が低い箇所²に下線を付した。

最近1年間の税込み個人年収別に検討した結果、年収の低い方が、概して「後悔する」と回答する割合が高かつた。特に、「収入なし」の者は「資格をとらなかつたこと」「学生時代に読み書き計算などの基礎的な勉強を十分にしなかつたこと」「学生時代に実際の仕事に役立つ勉強をしなかつたこと」を後悔する割合が高かつた。「～100万円」の者は「就職活動がうまくいかなかつたこと」を後悔する割合が高かつた。「600万円～」の者は「資格をとらなかつたこと」「学生時代に実際の仕事に役立つ勉強をしなかつたこと」「就職活動がうまくいかなかつたこと」を後悔する割合が低かつた(図表17)。

図表18 後悔すること×おもな家計負担者

	おもに 自分 N=619	おもに 配偶者 N=477	自分と 配偶者 半々 N=103	おもに 親 N=476	その他 N=89	sig.
資格をとらなかつたこと	26.7%	32.9%	22.3%	33.2%	28.1%	
学生時代に読み書き計算などの基礎的な勉強を十分にしなかつたこと	13.4%	13.0%	9.7%	19.7%	11.2%	**
学生時代に実際の仕事に役立つ勉強をしなかつたこと	16.6%	20.3%	14.6%	23.5%	25.8%	
学生時代に英語の勉強を十分にしなかつたこと	32.5%	32.5%	39.8%	31.5%	37.1%	
学生時代に友達を多くつくらなかつたこと	12.6%	12.4%	10.7%	20.2%	15.7%	**
就職活動がうまくいかなかつたこと	13.4%	9.2%	3.9%	31.7%	18.0%	**
後悔していることはない	32.6%	31.9%	32.0%	29.4%	30.3%	

** p<.01. 残差分析を行った結果、1%水準で統計的に有意に値が高い箇所¹に網かけ、有意に値が低い箇所²に下線を付した。

おもな家計負担者別に検討した結果、「おもに親」の者が「後悔する」と回答する割合が高かつた。特に、「おもに親」と回答した者は「学生時代に読み書き計算などの基礎的な勉強を十分にしなかつたこと」「学生時代に友達を多くつくらなかつたこと」「就職活動がうまくいかなかつたこと」を後悔する割合が高かつた。「おもに自分」「おもに配偶者」「自分と配偶者半々」と回答した者は「就職活動がうまくいかなかつたこと」を後悔する割合が低かつた(図表18)。

- ・「現在、失業中・休職中」の者は「資格をとらなかつたこと」「就職活動がうまくいかなかつたこと」を後悔
- ・次の「就職先を真剣に探している」ほど、概して「後悔する」と回答

図表19 後悔すること×失業・休職の有無

	現在、 失業中 休職中 N=451	過去に 失業・ 休職を 経験 N=466	失業・ 休職の 経験 なし N=847	差	sig.
資格をとらなかつたこと	38.8%	33.7%	23.1%	15.7%	**
学生時代に読み書き計算などの 基礎的な勉強を十分にしなかつたこと	19.5%	15.0%	11.9%	7.6%	**
学生時代に実際の仕事に役立つ 勉強をしなかつたこと	27.7%	21.2%	14.9%	12.8%	**
学生時代に英語の勉強を十分に しなかつたこと	39.2%	35.6%	28.0%	11.2%	**
学生時代に友達を多くつくらなかつた こと	18.4%	17.8%	10.9%	7.5%	**
就職活動がうまくいかなかつたこと	26.8%	17.8%	11.1%	15.7%	
後悔していることはない	19.5%	22.5%	42.6%	-23.1%	**

** p<.01。残差分析を行った結果、1%水準で統計的に有意に値が高い箇所に網かけ、有意に値が低い箇所に下線を付した。「差」は「現在、失業中・休職中」-「失業・休職の経験なし」。

失業・休職の有無別に検討した結果、「現在、失業中・休職中」の者は、概して「後悔する」と回答する割合が高かつた。特に、「現在、失業中・休職中」の者は「失業・休職の経験なし」の者に比べて「資格をとらなかつたこと」「就職活動がうまくいかなかつたこと」に「後悔する」割合が高かつた(図表19)

図表20 後悔することの違ひ×次の就職先を真剣に探している程度

	次の 就職先を かなり 真剣に 探して いる N=199	次の 就職先を やや 真剣に 探して いる N=274	どちら とも 言え ない N=384	次の 就職先を あまり 真剣に 探して いない N=234	次の 就職先を まったく 探して いない N=673	sig.
資格をとらなかつたこと	45.2%	43.4%	32.8%	29.5%	18.4%	**
学生時代に読み書き計算などの 基礎的な勉強を十分にしなかつたこと	18.1%	18.6%	16.4%	13.7%	11.4%	
学生時代に実際の仕事に役立つ 勉強をしなかつたこと	27.6%	28.8%	19.8%	20.5%	13.7%	**
学生時代に英語の勉強を十分に しなかつたこと	36.7%	40.5%	32.6%	35.5%	27.9%	**
学生時代に友達を多くつくらなかつた こと	19.1%	17.5%	14.1%	16.7%	11.7%	
就職活動がうまくいかなかつたこと	34.7%	24.5%	17.7%	19.7%	7.1%	**
後悔していることはない	18.1%	15.0%	30.7%	31.6%	42.3%	**

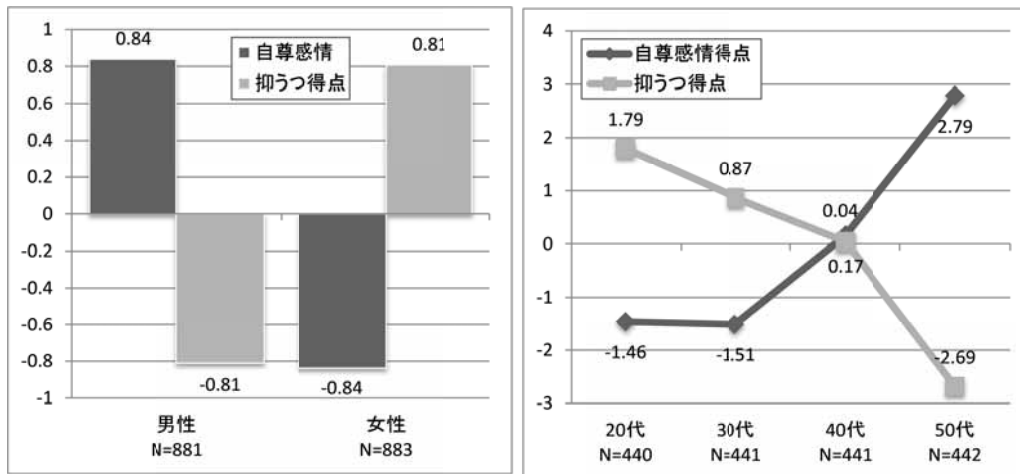
** p<.01。残差分析を行った結果、1%水準で統計的に有意に値が高い箇所に網かけ、有意に値が低い箇所に下線を付した。

次の就職先を真剣に探している程度別に検討した結果、「就職先を真剣に探している」ほど、概して「後悔する」と回答する割合が高かつた。特に、「資格をとらなかつたこと」「学生時代に実際の仕事に役立つ勉強をしなかつたこと」「就職活動がうまくいかなかつたこと」で「後悔する」割合が高かつた(図表20)。

(4) 成人の自尊感情・抑うつ傾向

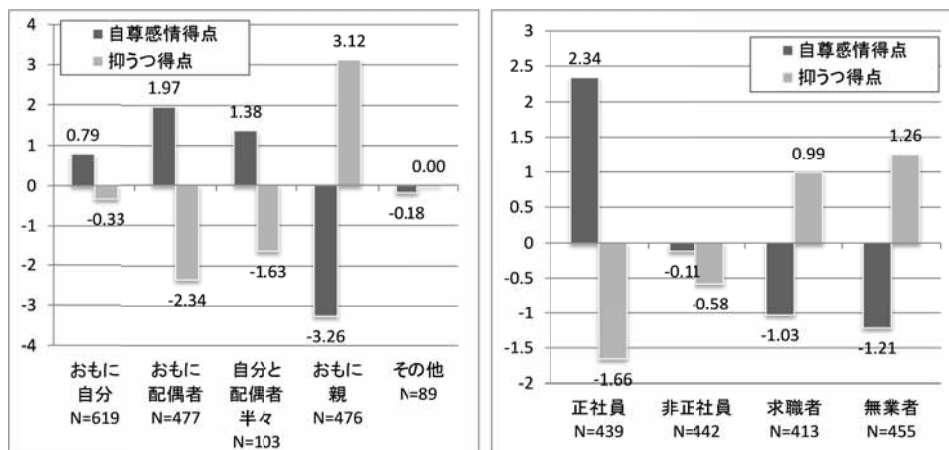
- ・男性の方が、また、年齢が高い方が、自尊感情が高く、抑うつ傾向が低い
- ・家計負担者が「おもに親」の者は、自尊感情が低く、抑うつ傾向が高い
- ・「正社員」は自尊感情が高く、抑うつ傾向は低い。
- ・「求職者」および「無業者」は、自尊感情は低く、抑うつ傾向が高い

図表21 自尊感情得点・抑うつ得点×性別(左)および自尊感情得点・抑うつ得点×年代(右)



性別に検討した結果、男性は女性に比べて自尊感情得点が高く、抑うつ得点が低かった。また、年齢別に検討した結果、年齢が高いほど、自尊感情得点は高く、抑うつ得点は低かった(図表21)。

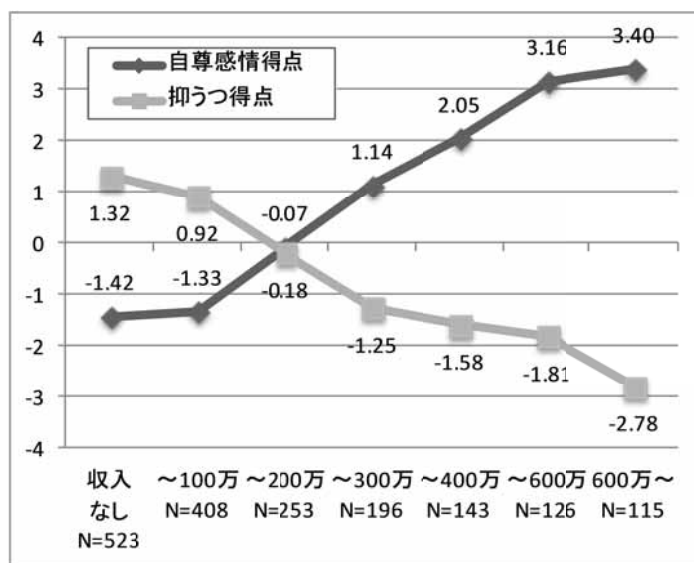
図表22 自尊感情得点、抑うつ得点×おもな家計負担者(左)および自尊感情得点、抑うつ得点×現在の立場(右)



おもな家計負担者別に検討した結果、「おもに親」の者は、自尊感情得点が低く、抑うつ得点は高かった。また、現在の立場別に検討した結果、「正社員」は自尊感情得点は高く、抑うつ得点は低かった。なお、「求職者」および「無業者」は、自尊感情得点は低く、抑うつ得点は高かった(図表22)。

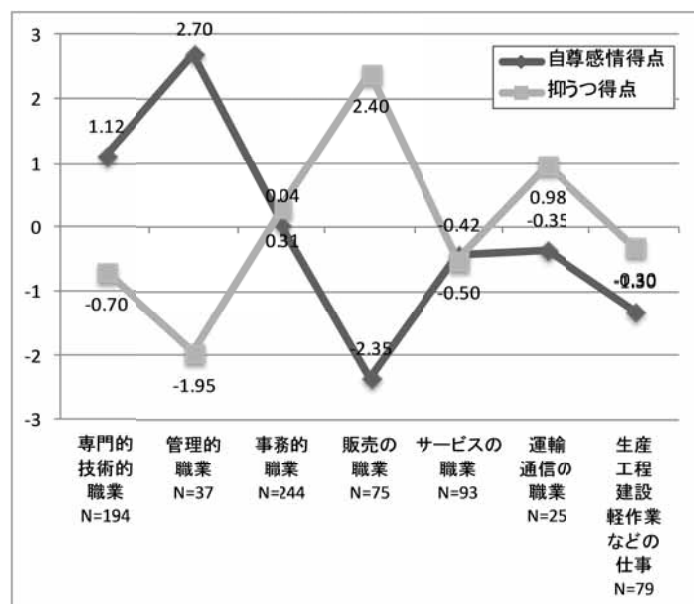
- ・年収が高いほど、自尊感情は高く、抑うつ傾向は低い
- ・「専門的・技術的職業」「管理的職業」に就いている者は、自尊感情が高い。
- ・「販売の職業」に就いている者は、抑うつ傾向が高い

図表23 自尊感情得点、抑うつ得点×最近1年間の税込み個人年収



最近1年間の税込み個人年収別に検討した結果、年収が高いほど、自尊感情得点は高く、抑うつ得点は低かった。また、年収が低いほど、「うつ傾向あり」の者の割合が高かった(図表23)。

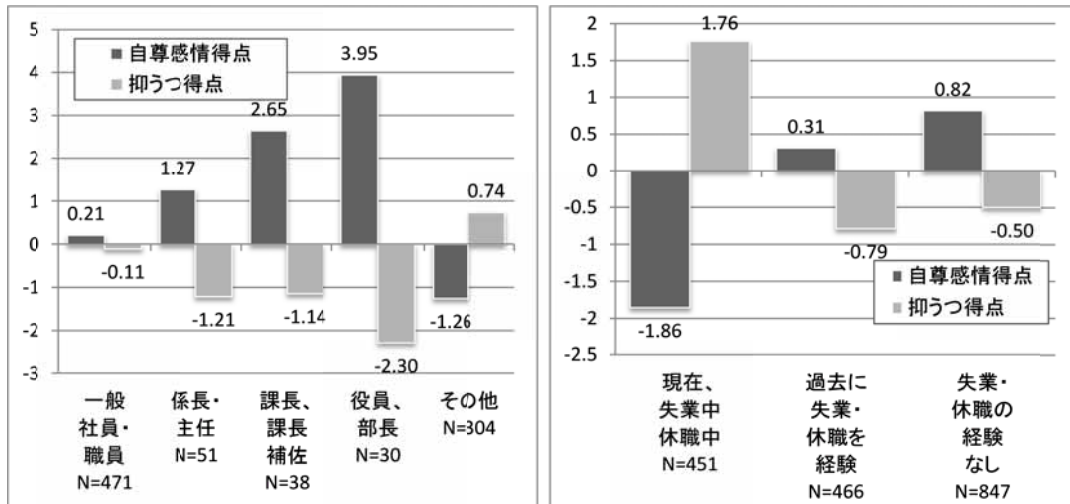
図表24 自尊感情得点、抑うつ得点×現在の職業



現在の職業別に検討した結果、「専門的・技術的職業」「管理的職業」に就いている者は自尊感情得点が高かった。また、「販売の職業」「サービスの職業」に就いている者は「うつ傾向あり」の割合が高かった(図表24)。

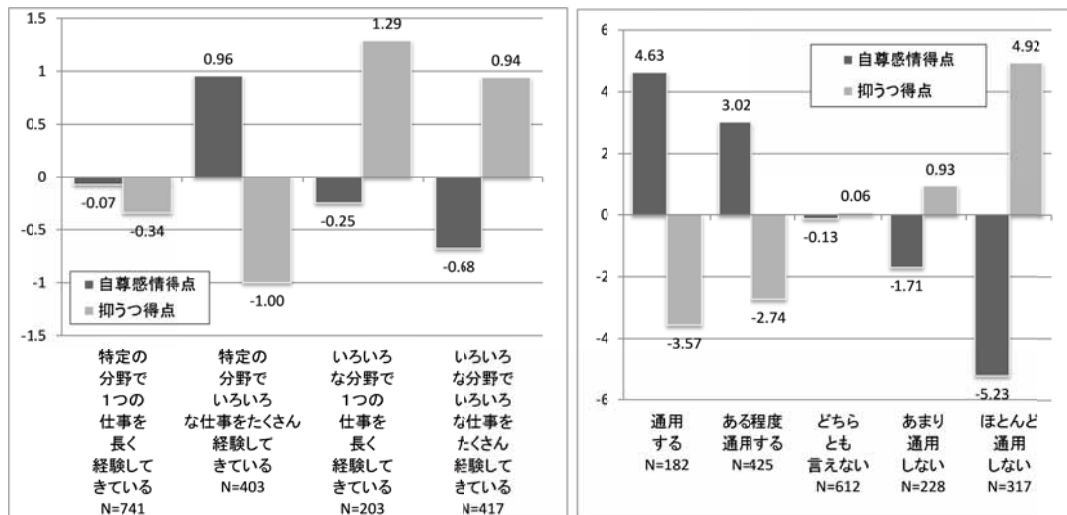
- ・職位が高いほど、自尊感情も高い
- ・「現在、失業中・休職中」の者は自尊感情が低く、抑うつ傾向が高い
- ・「特定の分野でいろいろな仕事を経験してきた」と回答した者は抑うつ傾向が低い
- ・職業能力が同業他社で通用すると回答した者は自尊感情が高い

図表25 自尊感情得点、抑うつ得点×勤務先の職位(左)および
自尊感情得点、抑うつ得点×失業・休職の有無(右)



勤務先の職位別に検討した結果、職位が高いほど自尊感情は高かった。また、失業・休職の有無別に検討した結果、「現在、失業中・休職中」の者は自尊感情得点が低く、抑うつ得点は高かった(図表25)。

図表26 自尊感情得点、抑うつ得点×これまでのキャリア(左)および
自尊感情得点、抑うつ得点×あなたの職業能力は同業他社で通用するか否か(右)



これまでのキャリア別に検討した結果、「いろいろな分野で1つの仕事を長く経験してきた」、「いろいろな分野でいろいろな仕事をたくさん経験してきた」と回答した者ほど抑うつ得点が高く、「特定の分野でいろいろな仕事をたくさん経験してきた」と回答した者は抑うつ得点が低かった。また、職業能力が同業他社で「通用する」と回答した者は自尊感情得点が高く、「ほとんど通用しない」と回答した者は自尊感情得点が低かった。さらに「ほとんど通用しない」と回答した者は抑うつ得点が高く、「通用する」「ある程度通用する」と回答した者は抑うつ得点が低かった(図表26)。

調査の概要

(1) 調査対象

・一般成人 1,600 名。内訳は、性別（男性・女性）×年齢（20代・30代・40代・50代）×状況（正規就労・非正規就労・求職者・無業その他）で均等に収集した（性別×年齢×現在の状況の2×4×4の各セルに50名ずつを均等に割り当てて1,600名を収集した）。調査方法は、調査会社モニターを利用したインターネット調査

(2) 主な調査事項

- ・基本的属性（性別、年齢、扶養家族の有無、最終学歴、学校時代の専攻・学科、取得資格など）
- ・現在の状況（世帯収入、現在の身分、勤務先の業種・職業・従業員数、現在の職位など）
- ・学校卒業後のキャリア（転職経験、失業・休職期間の有無、職業能力の評価など）
- ・これまでの職業や学習に対する意識（満足感、職業生活で役立ったこと、これまでの後悔など）
- ・職業スキル、生活スキルおよび自尊感情、抑うつ傾向。なお、成人の自尊感情および抑うつ傾向は、自尊感情尺度（桜井，2000）およびSDS（Zung，1965）で測定した。

図表1 調査対象者の内訳

		20代	30代	40代	50代	合計
正社員	男性	57	55	55	56	223
		50.9%	49.1%	51.9%	51.4%	50.8%
	女性	55	57	51	53	216
		49.1%	50.9%	48.1%	48.6%	49.2%
非正社員	男性	55	55	57	57	224
		49.5%	51.9%	50.0%	51.4%	50.7%
	女性	56	51	57	54	218
		50.5%	48.1%	50.0%	48.6%	49.3%
求職者	男性	53	50	50	51	204
		50.0%	50.0%	46.7%	51.0%	49.4%
	女性	53	50	57	49	209
		50.0%	50.0%	53.3%	49.0%	50.6%
無業者	男性	54	57	57	55	223
		49.1%	48.7%	51.8%	46.6%	49.0%
	女性	56	60	53	63	232
		50.9%	51.3%	48.2%	53.4%	51.0%
合計		439	435	437	438	1749

本発表内容は、労働政策研究・研修機構調査シリーズ No.107「成人の職業スキル・生活スキル・職業意識」にとりまとめております。HP上で閲覧できますので、是非、ご参照ください。